

【アンケートの集計】

学校評価についてのアンケート		保護者		児童	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	家庭や地域で明るくあいさつをしている。	86.5	87	88	90
2	学校に行くことを楽しみにしている。	85.1	87	82.6	86
3	予習復習や宿題など、家庭学習をよくしている。	73.1	73	80	88
4	わかりやすい授業を行っている。	91	73	82.4	84
5	運動や体力の向上に努めている。	92.9	89	79.6	86
6	相談しやすい雰囲気がある。	85.2	84	90	93
7	いじめのない学級作り，学校作りに取り組んでいる。		89.5		90
8	安全，事故防止，防犯に配慮している。	88.2	92	93.4	96
9	教育方針や必要な情報を保護者に発信している（学校だより 学年だより ホームページ 学校メールなど）	93	94		
10	地域や保護者の考えをよく理解し，教育活動を進めている。	90.1	91		
11	家で読書をしている。			66.9	89
12	毎日朝食を食べている。			90	94
13	いつも一生懸命そうじをしている。			91.2	93
14	友達と仲良く過ごしている。			94.7	97

【アンケートについての考察】

- (1) 児童の評価がどの項目においても昨年度と比べてよい評価となっている。感染対策をして今までとは異なる学校生活ではあったけれど、「笑顔あふれる岩木小」をスローガンにみんなで力を合わせて頑張ってきたことが実感できているのではないかと考える。また、保護者の皆様や地域の方々の協力により、学校全体が**落ち着いて学習できている**からと考える。
- (2) **児童のあいさつや清掃活動**は、児童会活動において高学年児童からの呼びかけや活動の効果があつた。よいことをしっかり評価し、さらに意欲を高め継続させていきたい。
- (3) 読書については、昨年度よりも**読書に親しんでいる**児童が多く評価があがっている。本のはらっぱ、図書ボランティア、お昼の読み聞かせなどの継続的なボランティア支援が大きい。授業における図書館活用などもさらに推進し、児童のより豊かな読書生活のための方策を講じていきたい。
- (4) 「いじめのない学級、学校づくり」「学校が楽しい」「友達と仲良く」については、多くの児童が達成しているが、学校生活の中で、いやな思いをしたり悩みを抱えていたりする児童がいる。継続支援をしっかりとしていくとともに、「いじめはどの子どもにも、どの学校どの学級にも起こりうる」との意識を持ち、心豊かで安全・安心な学校づくりに今後も職員一丸となって取り組む。
- (5) 保護者アンケートから、「わかる授業」「運動体力の向上」「相談しやすい」の項目において昨年度よりも評価がさがり、課題があると考え。特に、「わかる授業」については、かなり達成できていない状況である。学校全体で「わかる授業」のための授業改善に努力する必要があると考える。職員研修や校内研究の充実を図っていく。また、今年度、授業参観・学級懇談会など、保護者の来校機会を持てなかった。授業や活動の様子を保護者の皆様に伝えたり、意見をいただいたりするなどの機会の工夫を講じていきたい。